



常陸太田市

議会だより

No. 128
平成24年5月25日

H I T A C H I O T A

発行 常陸太田市議会
常陸太田市金井町3690番地

●責任者 議長 茅根 猛
●電話 0294(72)3111(代)

●編集 広報委員会

FAX 0294(73)1119



第23回竜神峡鯉のぼりまつり

4月21日～5月13日

■ 平成24年 第1回定例会 開催 ■

主な内容

議会改革の推進について 2・3
施政方針 4・5
第1回定例会 議案賛否一覧 6・7
議案質疑 8
一般質問 9～13

予算特別委員会 13
常任委員会の審査から 14
請願・陳情・議員提案
・議会運営委員会・議会日誌 15
編集後記 16

議会活性化と市民参加

見える議会へ

議会報告会を開催いたします

市議会では、市民の多様な意見を代表する「合議制の機関」として、その役割を果たし、市政の発展に貢献していくためには、多くの市民と結びつき、さらに積極的な市民参加を求める必要があると考え、今年度から、議員が地域で直接市民の皆様に議会活動を報告・説明し、意見交換を図る場として議会報告会を開催いたします。



報告会の概要

報告会は主に議会活動報告（議会全般・議会活性化策・各委員会の活動）を行い、その後、質疑応答及び議会活動に対する意見交換を行います。

意見等への対応

報告会で出された意見等は、報告書として取りまとめ、広報委員会において対応方針を検討、議長に報告されます。報告会の意見等は、議会において対応を協議・整理を行い、その結果は市議会ホームページ上で公開いたします。

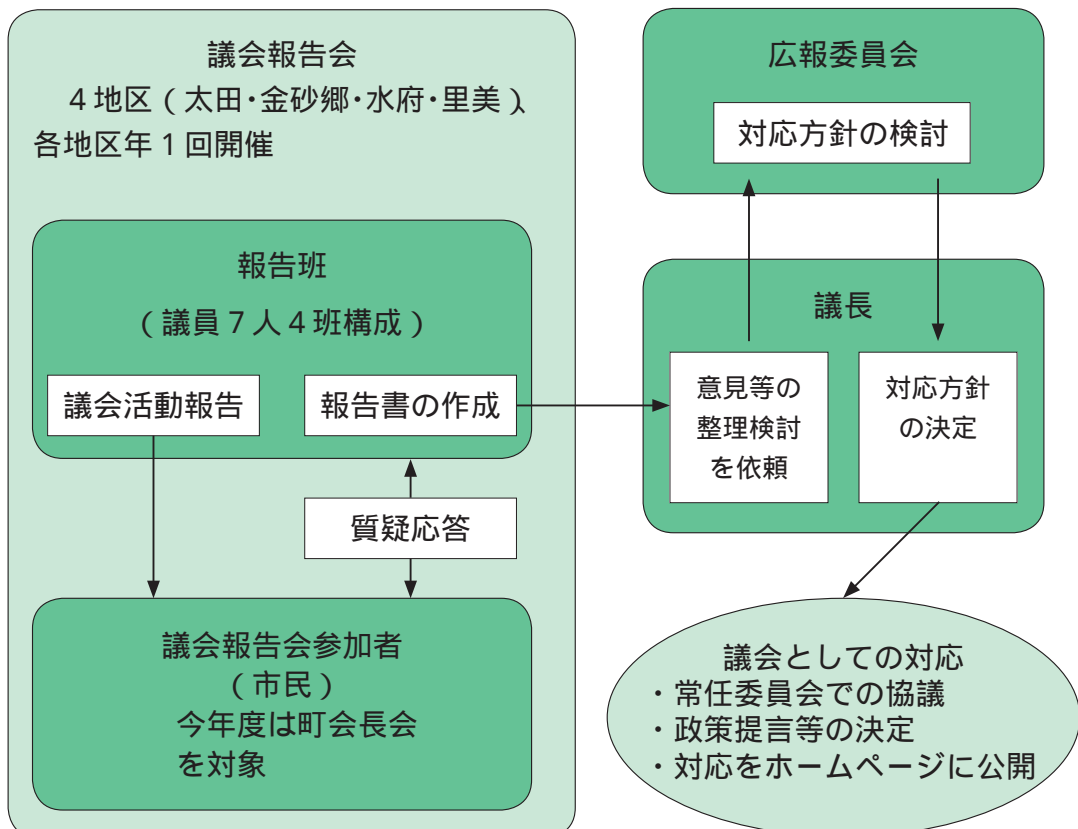
開催回数と開催時間

原則として、太田地区、金砂郷地区、水府地区、里美地区の4地区で、年1回開催。

開催時間は概ね1時間30分程度を予定しています。

今年度の議会報告会は、太田地区・金砂郷地区・水府地区・里美地区の4地区の町会長会を対象とし、議会からの活動報告（議会全般・議会活性化策・各委員会の活動報告等）と質疑応答、議会活動に関する意見交換を行います。

《議会報告会の実施イメージ》



今年度の実施状況を踏まえ、平成25年度から市民の皆さんへの報告会を実施してまいります。

常任委員会の年間活動計画を決定

常任委員会の審査・議論の充実をはかるため、3月定例会時から、これまで2日間で行われてきた定例会中の常任委員会（3委員会）を3日間開催（1日1委員会）とし、同日午前中に委員会協議会を開催しました。

委員会協議会では、委員会における政策形成能力を強化し、将来を展望した政策樹立機能の充実を目指し、委員会の年間活動指針（調査項目・調査方法）を定める活動計画書を作成しました。各常任委員会はこの活動計画をもとに1年を通し所管事項の調査研究を行い、来年2月に結果を取りまとめ報告書を作成することとなります。

下記の調査項目について、委員会で調整し、執行部に資料や説明を求めること・各種団体との意見（情報）交換及び管内現地視察・先進地行政視察を通して調査研究を行います。

総務委員会

《調査項目》

- 1 少子化・人口減少対策に関する取り組みの現況と今後の対応についての調査・研究
- 2 震災復旧・復興計画の進捗状況と地域防災計画の課題点を抽出分析し、次期計画への提言のとりまとめを推進する
- 3 再生可能エネルギーについての調査・研究

文教民生委員会

《調査項目》

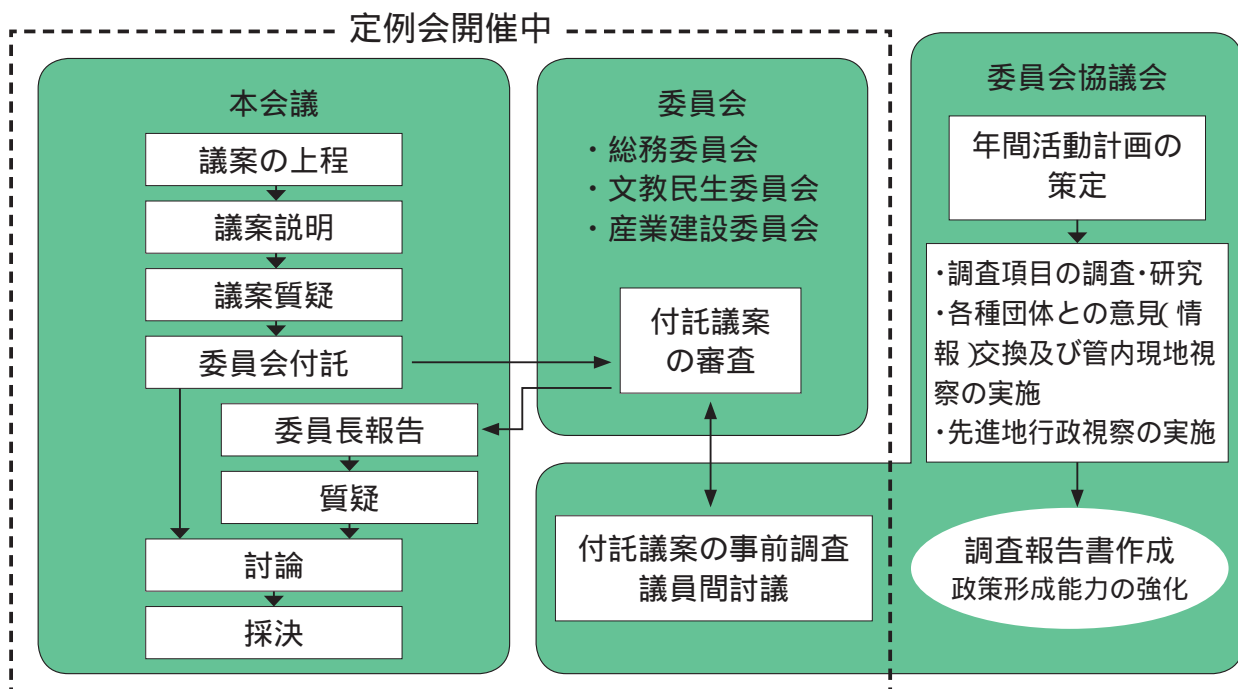
- 1 放射性物質除染計画の進捗状況と今後の対応についての調査・研究
- 2 高齢者福祉サービスの現状を調査し、課題点の抽出・分析を進め、鋭意提言のとりまとめを推進する
- 3 少子化に伴う学校教育のあり方と子育て支援についての調査・研究

産業建設委員会

《調査項目》

- 1 自然エネルギーによる地域経済の活性化についての調査・研究
- 2 地域の特性を生かした地場産業の振興についての調査・研究

《委員会活動のイメージ》



議案の付託を受けた委員会は、委員会の審査をより詳細に行うため、事前に委員会協議会を開催し、付託議案の事前調査と議案に対する議員間の意見交換（討議）を行いました。また、定例会の開催時以外の活動として、委員会協議会を開催し、年間活動計画に基づく調査活動を行います。



茅根 猛 議長

議長あいさつ

平成24年度の「常陸太田市議会だより」の発行にあたり、議会を代表いたしまして「ごあいさつ」を申し上げます。
市民の皆様方には、日頃から市議会に対する深い理解と市政に対するご協力をいただき、心から感謝申し上げます。未曾有の被害をもたらした東日本大震災、福島第一原発事故の発生から1年が経過いたしました。
市議会においては、本市が震災を乗り越え、発展を遂げるため、「市震災復旧・復興計画」「市放射性物質除染計画」に基づき、執行機関と一丸となって取り組んでまいります。3月定例会は、3月5日から22日までの会期により、小

中幼施設災害復旧事業、指定文化財等災害復旧事業、小中学校施設耐震化事業、本庁舎耐震補強工事、定住促進助成事業、妊産婦医療費助成事業など、少子化・人口減少対策各事業等を盛り込んだ平成24年度各会計予算や議員提出議案など計47件の審議を行い、また、一般質問では、9名の議員が質問に立ち、施政方針や財政、産業振興など市政全般にわたる議論がなされました。
市議会においては、「議会活性化と市民参加」として議会報告会の開催、常任委員会の年間活動など、更なる議会の活性化に取り組んでまいります。
結びに、市民の皆様方のますますのご健勝を心から祈り申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



施政方針を述べる
大久保太一市長

市政運営の基本方針

昨年度に引き続き、市民の皆様が安全・安心に生活できるよう、生活基盤の復旧や再建支援、各施設の耐震化、地域防災計画の見直しに取り組むとともに、地域経済の回復・再生に向けた産業活動支援など、復旧・復興と放射能対策を最優先課題とし、全力をあげた取り組みを進めてまいります。

また、もう一つの最重要課題である少子化・人口減少対策として、人口減少に少しでも歯止めをかけるため、中学生までの医療費無料化、第3子以降の保育料無料化等に加え、妊産婦医療費の無料化、2人目園児の保育料減額、婚活を推進する団体への支援など、市

第一回市議会定例会

平成二十四年度施政方針（要旨）

三月五日開会の平成二十四年第一回市議会定例会において、大久保太一市長は、平成二十四年度の「施政方針」を明らかにしました。その要旨を紹介します。

平成二十四年度予算概要

の将来を担う若者が定住し、安心して子育てができる環境づくりに努めてまいります。更には、交流人口の拡大、働く場の確保などについて、引き続き取り組みを進めてまいります。

一般会計は前年度比3・7%、8億5200万円増の239億5600万円、合併後最大の予算規模であり、震災に伴う災害復旧事業や被災者支援費などに3億3800万円、小中学校校舎や屋内運動場、市役所本庁舎など公共施設の耐震化を図るための実施設計並びに工事費用、放射性物質の除染対策などの経費として7億2300万円を計上。

特別会計は7会計で前年度比1・5%増の135億4999万円、企業

平成二十四年度一般会計主要事業

新規・主要事業を抜粋して掲載

市震災復旧・復興計画

市民生活の再生

被災住宅復興支援利子助成事業【新規】
東日本大震災により住宅が全壊等の被害を受けた被災者に対し、被災住宅復興に必要な資金の借り入れに係る利子のうち利率1・5%分を補給

住宅耐震改修事業

耐震改修費助成及び耐震改修計画書

作成費助成

500万円

小中幼施設災害復旧事業

世矢中学校屋内運動場新築復旧工事
管理業務など

1834万5千円

産業・経済・交流・地域文化の再建

中小企業震災復興融資利子補給事業
中小企業者が貸付を受けた茨城県東日本大震災復興緊急融資及び経営改善資金貸付の返済に係る利子のうち利率1・5%分を補給

900万円

プレミアム付商品券補助事業

消費拡大による地域経済及び小売店等の活性化

1000万円

各種イベント開催補助事業

さくらまつり、太田まつり、秋まつり

等各種まつり・イベント補助

3362万4千円

指定文化財等災害復旧事業

旧町屋変電所災害復旧工事、水戸徳川家墓所災害復旧補助、西山荘災害復旧補助

4467万2千円

郷土資料館耐震改修事業

耐震改修工事設計業務 保存活用計画策定委員会開催

1201万6千円

防災のまちづくり

小中学校施設耐震化事業

校舎耐震改修工事設計業務（太田小・佐竹小・水府小・山田小）屋内運動場耐震改修工事設計業務（郡戸小・小里小・賀美小・水府中）校舎耐震改修工事（太田中、世矢中、水府中）

4億2197万6千円

本庁舎耐震補強事業

本庁舎耐震補強工事（平成25年度債務負担行為3億9245万円）

2億6005万円

山吹運動公園市民体育館等改修事業

市民体育館耐震改修工事、水泳プール解体工事

1億2431万8千円

自主防災組織育成事業【拡充】

自主防災組織資機材整備助成 指導者（防災リーダー）研修会の開催

565万1千円

災害対策機器等整備事業【拡充】

支所等へ災害備品を分散配備（備蓄食料品の追加、発電機・投光器等災害用備品の購入）災害時の本庁・支所、避難所との相互通信手段を確保するための衛星電話整備

924万2千円

放射線量低減対策特別緊急事業

プルトーさとみ付近の放射性物質を低減させるための除染工事に伴う測量設計業務

1234万3千円

総合計画施策別

『輝く人をつくる』

新婚家庭家賃助成事業【拡充】

市内の民間賃貸住宅に居住する新婚家庭に対し助成する。平成24年度・月額2万円

2293万7千円

結婚推進事業

結婚相談センター「YOU愛ネット」による結婚相談・紹介、独身者の交流会や研修会、独身者の子をもつ親の集いの実施

411万5千円

保育園保育料の軽減【新規】

保育所に2人入所している場合、2人目に係る保育料を月3千円減額

（歳入予算）299万円

市立幼稚園保育料の軽減【新規】

市立幼稚園に2人入園している場合、2人目に係る保育料を月3千円減額

（歳入予算）90万円

（仮称）赤ちゃんの駅設置事業【新規】

公共施設（市民交流センター）に授乳等のスペースを設置

65万2千円

定住促進助成事業

市内に住宅を取得した子育て世帯等に対し、固定資産税額の1/2に相当する額（上限10万円）を助成

1703万9千円

小学校図書司書配置事業【拡充】

専任司書の配置を10校から14校に拡充（大規模校週3日・中規模校週2日）

5296万円

『安らぎのある快適環境をつくる』

水道事業会計出資金

水道統合事業にかかる経費の1/2を出資（浄水場築造工事、取水場整備工事、佐竹配水池送水管新設工事）

8億9690万円

下水道事業特別会計繰出金

公共下水道事業管路整備工事（増井町・上河合町・大森町・新宿町外）特定環境保全公共下水道事業（大平町・松平町・大里町）

6億9189万7千円

消防車両整備事業【新規】

消防団ポンプ自動車2台の更新・消防団小型消防ポンプ積載車2台の更新

4600万円

妊産婦医療費助成事業【新規】

県制度では対象とならない産婦人科以外の疾病の医療費を助成。併せて所得制限を撤廃

548万7千円

地域支え合い事業【新規】

見守り体制の充実や避難誘導等援助活動が円滑に行われるよう要援護者の台帳を整備、情報管理と共有化を図る

246万8千円

『まちの元気をつくる』

森林機能緊急回復整備事業

緊急間伐の実施（間伐160ha、作業道整備4400m）

7538万9千円

県営農林道整備事業

県営東北東部地区広域農道整備負担金、小妻地区ふるさと農道整備負担金、奥久慈グリーンライン林道整備負担金

6828万9千円

地域農業再生協議会支援事業

農業者戸別補償制度の推進、担い手・耕作放棄地対策、農地利用推進費の交付等

6009万2千円

地域おこし事業【拡充】

総務省の「地域おこし協力隊事業」を活用。平成24年度は協力隊員を増員し、地域の活性化を図る

2230万2千円

（仮称）金砂ふるさと体験交流施設整備事業

宿泊機能を有する体験・滞在型交流施設として整備、屋内運動場耐震診断・実施設計、備品整備、嘱託員の配置等）

1702万1千円

地産地消推進事業【拡充】

朝市の支援、営農指導員の雇用、簡易パイプハウス整備費助成、学校給食地場産材の活用

1311万5千円

特産品化推進事業【拡充】

特産品認証マークの作成、堆肥導入事業助成、常陸秋そば生産促進助成等

559万1千円

まちづくりの推進のために

市民提案型まちづくり補助事業

市民団体及びグループ等が主体的に企画実施する事業への補助を行い、市民協働のまちづくりを推進

570万円

ホームページリニューアル事業

動画を取り入れた観光・イベント情報や各種行政サービスなどを分かりやすく利用しやすい内容に構成するとともに、高齢者や障がい者・外国人にも利用しやすい機能を追加

156万1千円

第1回定例会 議案賛否一覽

全員賛成で可決した議案

議案名		付託委員会	議決結果
報告第1号	専決処分承認を求めることについて（常陸太田市市税条例の一部を改正する条例）	本 会 議	原案承認
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度常陸太田市一般会計補正予算（第7号））	本 会 議	原案承認
議案第1号	常陸太田市の歌の制定について	総務委員会	原案可決
議案第2号	常陸太田市暴力団排除条例の制定について	文教民生委員会	原案可決
議案第3号	常陸太田市墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について	文教民生委員会	原案可決
議案第4号	常陸太田市と茨城県信用保証協会との損失補償金寄託契約に基づく回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の制定について	産業建設委員会	原案可決
議案第5号	常陸太田市都市計画法の規定による開発行為の許可等の基準に関する条例の全部改正について	産業建設委員会	原案可決
議案第6号	常陸太田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務委員会	原案可決
議案第9号	常陸太田市危険物の規制に関する手数料条例の一部改正について	総務委員会	原案可決
議案第10号	常陸太田市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	文教民生委員会	原案可決
議案第12号	常陸太田市火災予防条例の一部改正について	総務委員会	原案可決
議案第13号	常陸太田市公民館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について	文教民生委員会	原案可決
議案第14号	常陸太田市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	文教民生委員会	原案可決
議案第15号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	産業建設委員会	原案可決
議案第16号	常陸太田市道路線の変更について	産業建設委員会	原案可決
議案第17号	常陸太田市道路線の認定について	産業建設委員会	原案可決
議案第18号	平成23年度常陸太田市一般会計補正予算（第8号）について	総務委員会	原案可決
議案第19号	平成23年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	文教民生委員会	原案可決
議案第20号	平成23年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	文教民生委員会	原案可決
議案第21号	平成23年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	文教民生委員会	原案可決
議案第22号	平成23年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算（第5号）について	産業建設委員会	原案可決
議案第23号	平成23年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第5号）について	産業建設委員会	原案可決
議案第24号	平成23年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計補正予算（第3号）について	産業建設委員会	原案可決
議案第25号	平成23年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）について	産業建設委員会	原案可決
議案第26号	平成23年度常陸太田市水道事業会計補正予算（第4号）について	産業建設委員会	原案可決
議案第27号	平成23年度常陸太田市工業用水道事業会計補正予算（第4号）について	産業建設委員会	原案可決
議案第30号	平成24年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計予算について	予算特別委員会	原案可決
議案第32号	平成24年度常陸太田市下水道事業特別会計予算について	予算特別委員会	原案可決
議案第33号	平成24年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計予算について	予算特別委員会	原案可決

第1回定例会議案賛否一覽

起立採決となった議案

議案第34号	平成24年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計予算について	予算特別委員会	原案可決
議案第35号	平成24年度常陸太田市簡易水道事業特別会計予算について	予算特別委員会	原案可決
議案第36号	平成24年度常陸太田市水道事業会計予算について	予算特別委員会	原案可決
議案第38号	平成23年度常陸太田市一般会計補正予算(第9号)について	本会	原案可決
議案第39号	常陸太田市教育委員会委員の任命について	本会	原案可決
所管事務調査について			本会

議 案 名		付託 委員会	審 査 結 果																					議 決 結 果		
議案第7号	常陸太田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総務委員会	原案可決	宇野 隆子	高木 将	沢 亮	黒沢 義久	後藤 守	川又 照雄	山口 恒男	福地 正文	片野 宗隆	成井小太郎	荒井 康夫	高星 勝幸	深谷 秀峰	菊池 伸也	益子 慎哉	平山 晶邦	鈴木 二郎	深谷 涉	木村 郁郎	赤堀平二郎	藤田 謙二		
議案第8号	常陸太田市市税条例の一部改正について	総務委員会	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第11号	常陸太田市介護保険条例の一部改正について	文教民生委員会	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第28号	平成24年度常陸太田市一般会計予算について	予算特別委員会	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第29号	平成24年度常陸太田市国民健康保険特別会計予算について	予算特別委員会	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第31号	平成24年度常陸太田市介護保険特別会計予算について	予算特別委員会	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第37号	平成24年度常陸太田市工業用水道事業会計予算について	予算特別委員会	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
請願第1号	東海第2原発の廃炉を求める請願	総務委員会	不採択	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議員提案第1号	東日本大震災に係る災害廃棄物の処理支援に関する決議について	(本会議)		×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
【○：賛成 ×：反対】 議長の表決権 過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決可否決が決定することが出来る採決権が認められています。																										

【○：賛成 ×：反対】
議長は表決権 過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決可否決が決定することが出来る採決権が認められています。

第1回定例会において、議員提案された下記の決議が可決されました。

東日本大震災に係る災害廃棄物の処理支援に関する決議

昨年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、巨大な津波を引き起こし、東日本の沿岸地域に甚大な被害をもたらした。

今回の地震が日本国民すべての日常生活や産業全般に及ぼした影響は計り知れないものがあり、本市としても、被災地の復興支援に市民挙げて取り組んできた。

一方、この震災により大量に発生したがれきは、被災地だけでは処理ができないため、国が全国に受け入れを要請しているが、放射能汚染の不安等から今もって受け入れが進まないのが現状であり、被災地の復興が進まない大きな要因となっている。

東日本大震災に係る災害廃棄物の処理については、我々国民全体で協力することが求められている。

よって、本市議会は、特に放射能の検査を徹底し、国が定める安全基準を下回る災害廃棄物について、積極的に処理支援に取り組むよう茨城県及び常陸太田市に要請する。

以上、決議する。

平成24年3月22日

常陸太田市議会

議案質疑
(第1回定例会)

問 議案第2号常陸太田市暴力団排除条例の制定について、第8条に「市はその設置する中学校において犯罪の被害を受けないようにするための教育が必要に応じて行われるよう適切な措置を講じることとしているが、措置とはどのようなものを考えているのか伺いたい。」

市民生活部長 「適切な措置を講ずること」については、教育委員会や各学校・中学校、警察等と連携し、生徒に暴力団の実情を正しく認識してもらうため、学級活動や学校で行う親子の活動の中で教育を行っている。その中で、生徒が暴力団に加入せず、又被害を受けないよう、暴力団等の特徴、加入した場合の悲惨さや苦痛、加入をせまられた場合の対応等、具体的な事例を通して暴力団についての理解を図ってまいりたい。また、警察や関連団体と連携して、暴力団に

かかる内容を織り込んだパンフレットやチラシを作成、学校や街頭での配布を通しての啓発活動にも取り組んでまいりたい。

問 議案第11号介護保険条例の一部改正について、基準月額保険料の値上げ理由を伺いたい。

保健福祉部長 介護保険料は第5期介護保険事業計画期間である平成24年度から26年度における高齢者人口、要介護等認定人口、サービス利用料などから3年間の介護給付費見込み額を推計し算出している。値上げ理由としては、要介護等認定者数の増加によるサービス利用料の増加を見込むこと。特別養護老人ホーム待機者の解消を図るための155床の新設・増設整備による介護給付費の増加。介護報酬改定による介護給付費の増加によるもので、保険料算定にあたっては市の介護保険支払い準備基金の取り崩しと県の財政安定化基金の取り崩しにより介護保険料の上昇を極力抑制したものである。

一

般

質

問

平成24年第1回市議会定例会の一般質問では、9名の議員が登壇しました。

(次ページから掲載)

掲載内容は一般質問の一部を要約したものです。

発言の詳細は議会ホームページ・市図書館で公開する会議録をご覧ください。

赤堀平二郎 議員

Q1 再生エネルギー買取法案の成立と昨今の電力改革・自由化に向けた動きとが相まって、地域における発電事業の成立が可能となり、将来エネルギーの地産地消が促進されるものと考えています。そこで、自然エネルギーを柱とした街づくりを進めるべきと考えますが如何か。また自然に恵まれた地域の再生可能エネルギー発電の可能性と方向性について伺いたい。

A1 市民生活部長 市内には水力や風力を活用した発電施設が設置され、また平成20年度策定の市環境基本計画には、電力の地産地消を目指すまちをつくることを掲げており、太陽光発電などの普及を推進している。

Q1 再生可能エネルギーについて

Q2 自殺者対策について

能性調査を実施する。

Q2 1998年以降14年連続で自殺者数が3万人を上回るが、当市の現況と対策について伺いたい。

から県の地域自殺対策緊急強化交付金事業費補助金を活用した事業に取り組んでいる。また併せて、自殺と関連の深いうつ病対策にも引き続き取り組んでいきたい。

藤田 謙二 議員

Q1 福島第一原発事故に伴う農畜産物への風評被害について、4月から放射性セシウムの新基準値が設定される等、新たな影響も懸念されるが、払拭に向けたこれまでの対応、被害状況、今後の対策について伺いたい。

A1 産業部長 放射能検査機器を購入し、これまで683件の検査を実施。その結果を市民へ市のホームページ、広報誌、防

Q1 風評被害払拭に向けた対応や、今後の対策は

Q2 市の歌「空があるまち」の周知、利活用策を

A2 保健福祉部長 16年度18人、17年度19人、18年度17人、19年度13人、20年度11人、21年度10人、22年度17人、23年度は1月現在12人である。本市では、22年度

A2 政策企画部長 小中学校・幼稚園・保育園はもとより、公共施設や公民館などにCDを配布すると共に図書館で貸し出しを行っていく予定。またホームページでの使用や公共施設等での放送、観光PRやイベント、合唱団や吹奏楽団等での歌唱・演奏、電話保留音への使用、市の発行する出版物や印刷物への掲載等、積極的に周知PRを行っていく。

A1 産業部長 放射能検査機器を購入し、これまで683件の検査を実施。その結果を市民へ市のホームページ、広報誌、防

Q2 待望の「常陸太田市の歌」が完成し、これから広く歌われ、長く愛され続けられるように、今後も、今後どのように周知し、活用していくのか。考えを伺いたい。

A2 政策企画部長 小中学校・幼稚園・保育園はもとより、公共施設や公民館などにCDを配布すると共に図書館で貸し出しを行っていく予定。またホームページでの使用や公共施設等での放送、観光PRやイベント、合唱団や吹奏楽団等での歌唱・演奏、電話保留音への使用、市の発行する出版物や印刷物への掲載等、積極的に周知PRを行っていく。

【藤田 謙二 議員 質問事項】

- ・風評被害について
- ・学校統廃合について
- ・SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)について
- ・地産地消について
- ・市の歌について

【赤堀 平二郎 議員 質問事項】

- ・エネルギー問題について
- ・自殺者対策について
- ・交通弱者問題について

鈴木 二郎 議員

Q1 まちのにぎわいと元気を創出するためには、観光交流や市民交流の促進と魅力ある商店街の整備が重要と考える。駅周辺のにぎわいや観光交流促進及び国道349号沿線のにぎわい創出の計画と取り組みを伺いたい。

A1 政策企画部長 JR水郡線の利用促進策としては「地元利用者の利便性の向上」や「水郡線を利用する観光客の拡大」「水郡線に対する愛着心の醸成」

の3つの視点に立つて具体的施策を推進していく。

Q1 まちのにぎわい活性化の計画と取り組みを

Q2 資源リサイクル促進とごみ処理費の低減を

者の具体的計画を待つて支援し鋭意取り組んでいく。

産業部長 観光促進施策として観光施設の駐車場や案内板等の計画的整備、パンフレットの作成と接客対応の醸成等資質の向上を図っている。また体験型や着地型旅行商品の開発等により交流人口の拡大を推進していく。

とコスト低減について伺いたい。

A2 市民生活部長 都市鉱山リサイクルについては、県の回収研究会へ参加し効果的方法を検討し取り組んでいく。減量化と再利用化は、分別の徹底や収集方法を見直し対応を進めている。ごみ処理費の低減は分別収集化及び炉の運転方法の検討を進め、より一層の低減に努めたい。

益子 慎哉 議員

Q1 プラトリーさとみ及び、その周辺において行う除染作業の内容、また除去された土壌等の保管管理について。特に本市の上水道の水源地でもあり、安全性に配慮された保管場所なのか伺いたい。

A1 市民生活部長 除染作業は一般土木業者に発注し実施する予定である。その際には、厚生労働省が策定したガイドライン

Q1 放射能除染計画について

Q2 常陸太田新駅舎フェンスについて

を遵守し被爆線量、作業時間等管理を行い作業者の健康保護に万全を期して行く。また、除染作業により搬出される除去土壌等の保管管理については、市民の生活及び水道水源等に影響のない場所を選定するため、国との協議により国有林の活用も含め検討するとともに地元説明会を実施する。

フェンスが仮設の様なものであり、新駅舎と調和が取れていないように思うが、計画として施工の段階でどのように協議されたか伺いたい。

うなものになっており、フェンスを利用して何か絵を描くことや、植栽をする等検討してまいりたい。

A2 市長 フェンスがその建物に対して景観的に合っているかどうかの感覚は、それぞれ職員の間で異なるが、ご指摘のとおり、東側が工事用のフェンスと間違っ

Q2 すばらしい新駅舎が完成したが、それを取り巻くフェ

側が工事用のフェンスと間違っ

側が工事用のフェンスと間違っ

【益子 慎哉 議員 質問事項】
・放射性物質除染計画について
・常陸太田駅整備について
・観光行政について

【鈴木 二郎 議員 質問事項】
・まちのにぎわい活性化について
・資源リサイクルとごみ処理コスト低減について

深谷 秀峰 議員

Q1 本市が取り組んできた各種少子化人口減少対策事業の実績・評価と24年度への反映について伺う。

A1 市長 依然減少傾向が続いている中で厳しい認識を持って。施策の展開を図るため、調査分析を進め、併わせて、転出等異動届を出されている方に、事由などを問い、窓口においてアンケート調査を実施してい

Q1 少子化人口減少対策の実績と今後の取り組みは

Q2 中学校武道必修化の各学校取り組み状況は

る。24年度には妊産婦医療費助成の無料化、2人目園児保育料の減額、婚活推進団体への支援、仮称「赤ちゃんの駅」新設など取り組む。調査分析結果を踏まえて更なる充実を図りたい。又、新婚家庭の家賃助成を2万円に増額。入居物件の確保に努めたい。定住人口を増やすため、20～30代の若者世代が当市を選択するよう積極的な情報発信を推進したい。

Q2 中学校武道必修化で各学校の選択種目は。施設用具等の整備、学習内容、指導体制などについて伺う。

A2 教育長 本市では3校が剣道、5校が柔道を選択した。柔道を選択した学校については、畳などを整備し、24年度授業開始までにすべて整備が完了する。安全性を確保した指導が必要であるため、柔道の指導に当たる

保健体育担当教諭を対象に、実技研修会を実施する。柔道の指導をする教員は保健体育を専門的に学んできた者であるが、柔道の正しい指導のあり方を理解することが大切であり、計画的に実技指導者研修会を開催し、更に安全に配慮した授業を実施してまいりたい。また、柔道の指導的立場の方々に授業のサポーターとして協力いただけるような体制づくりを図ってまいりたい。

菊池 伸也 議員

Q1 市長は空き家の適正管理に関する条例の制定をできるだけ早い時期に進めると答弁されてきたが、これまでの検討内容と課題について伺う。

A1 市民生活部長 課題として、管理不全な空き家の所有者への処置規定をどの程度まで設定するのかである。高齢化による転居などで空き家が増えており、老朽化による倒壊ばかりでな

Q1 空き家の適正管理に関する条例の制定は

Q2 森林湖沼環境税の活用と制度継続の考え方は

く不審者の出入りや放火の危険性など火災予防上、防犯上の問題もある。更に東日本大震災の影響から老朽化した空き家の倒壊の危険性もあり、早急な対応が必要である。市民の安全安心な暮らし、良好な景観、住環境を確保する上で「空き家の適正管理に関する条例」の制定は大変有効である。今後、先行自治体の運用状況を注視しつつ、庁内関係課と調整を図りながら市内の現状を把握した上

で、様々な課題を整理し空き家の有効活用の新たな視点を加え、平成24年度中の制定に向けて推進する。

当市の森林環境の保全には、重要と考えている。時限条例として最終年は平成24年度となっているが、緊急間伐の実施面積は、必要とする約5割程度しか完了しない状況であるため、平成25年度以降の制度継続も強く望むところである。あらゆる機会において、関係機関と連携により茨城県への要望を行っていく考えである。

Q2 森林湖沼環境税の活用状況と平成25年度以降の課税期間の延長について伺う。

A2 市長 平成23年度までの総事業費は、約2億9700万円で大部分が県の財源であり、

【菊池 伸也 議員 質問事項】

- ・空き家条例の制定について
- ・産業振興について

【深谷 秀峰 議員 質問事項】

- ・施政方針について
- ・教育問題について
- ・福祉問題について

深谷 渉 議員

Q1 人口減少が著しい今、余裕・余剰施設を管理運営するには、従来の所管部門別の縦割り管理では無理がある。全体の施設を横断的に統括・調整し全体的に最適化を図る組織づくりが必要である。このファシリティマネジメント(FM)の導入について伺いたい。

A1 総務部長 本市では382施設966棟を当該施設を所管する課長等が管理・運営をし

Q1 市有施設の効果的な管理運営に新手法導入を
Q2 災害時の避難所訓練に活用できるHUG

ている。FMは、土地や建物など保有する施設を最小のコストで最大の効果が発揮できるように保有・運営・維持しようという手法である。本市は、地方交付税の合併算定替が26年度で終了するので、予算規模を縮小していく必要があると考えるため、先進自治体の取り組みについてさらに認識を深め、今後研究していく必要があると考えている。

Q2 HUGは、H「避難所」、U「運営」、G「ゲーム」の頭文字をとった言葉である。静岡県が開発した災害時の避難所運営を図面とカードを使って、いざという時の迅速な対応を訓練するシミュレーションゲームである。このゲームが、最近多くの団体や自治体で取り入れられている。本番さながらの体験ができ、緊迫感のあるものとの評価である。本市でも活用してはどうか。

A2 総務部長 ゲームの詳細について不明な点もあることから、今後、HUGセットを取り寄せて、まずは避難所担当職員を中心に検証を行い、実体験をしたうえで「有効」なものと判断できれば、自主防災会の防災訓練や自主防災会リーダー育成研修会などへの導入について検討を行ってまいりたい。

平山 晶邦 議員

Q1 総合計画後期基本計画は今後5年間に本市行政が進める基本となる総合計画である。その策定にあたっては前期計画の反省や今後計画を進めるにあたって財政的裏付けが必要であると考えている。また、計画の進捗管理はどこが担うのかを伺いたい。

A1 政策企画部長 前期計画の評価・検証を踏まえ後期計画の内容の見直しなどを行った。

Q1 現実的・財政的裏付けある総合計画を
Q2 若い人たちに住んでもらえる住環境整備を

本来、総合計画は市の向かうべき大きな方向性を示すものであり、財政的裏付けは、3年間の計画期間で策定している「実施計画」の策定作業の中で、担保するものと考えている。また、進捗管理はこれまでのやり方が十分機能していなかった面もあることから、今後は政策企画部が中心となり進捗管理システムの見直しも含めた検討を進めていく。

Q2 本市の最大の問題は「交流人口の拡大」であることを議会の場で述べてきた。近隣の那珂市や常陸大宮市と比べて18歳から60歳の現役世代の人口が少ないことに危機感を持っている。若者定住促進策について伺いたい。

A2 政策企画部長 社会動態については、転入・転出ともに近隣の6市村に20〜30歳代が数

多く移動している実態があることは承知している。今後は、重点戦略の「ストップ少子化・若者定住戦略」に基づき、国道349号沿線地域の開発の推進や企業誘致による雇用の確保や子育て支援の施策の一層の推進などをはかり、若者に魅力ある住環境の構築を進めていく。

【平山 晶邦 議員 質問事項】

- ・常陸太田市第5次総合計画後期基本計画について
- ・若者定住の促進について

【深谷 渉 議員 質問事項】

- ・市有施設の効果的な管理運営手法について
- ・災害時の避難所訓練について
- ・小中学校の校務支援システムについて
- ・交通安全施設整備について

予算特別委員会 3/16・19

平成24年度一般会計・特別会計7件、企業会計2件を審査



平成24年度の一般会計・特別会計・企業会計予算計10件について、10人の予算特別委員が選出され審査を行った。

一般会計の総額は239億5600万円、特別会計の総額は135億4999万円、企業会計の総額は34億8872万3千円で、各会計の合計409億9471万3千円の審査を行なった。一般会計の歳入面では、交付金の現況と今後の動向、年少扶養控除廃止の市民税への影響額、法人市民税の納付状況と廃業となった市内法人数、市債発行額の推移について。歳出面では、事業拡充となった地域おこし協力隊の活動の現況や行政の援助・指導方法、震災を受けての複合型交流拠点施設整備事業の現状、新婚家庭家賃助成事業の対象範囲、地域支えあい事業など新規事業の内容や各種補助金事業の成果分析と予算への反映、各種委託事業の事業内容と予算見積もり方法などについて質疑が行われた。国保特別会計では予算算出方法と一般会計繰入金の内訳、基金の積み立て状況、保険給付費の抑制策について。後期高齢者特別会計では被保険者数の推移、短期被保険者証の発行状況について。介護保険特別会計では各種委託事業の実施状況、地域包括支援事業の内容、税率改正の被保険者への所得段階別の影響、デイサービス事業所の活動の状況について。下水道事業特別会計では、下水道長寿命化計画策定委託の内容。工業用水道事業会計では、給水対象企業数や契約水量の変更内容など質疑が行われ、「平成24年度常陸太田市一般会計予算」「平成24年度常陸太田市国民健康保険特別会計予算」「平成24年度常陸太田市介護保険特別会計予算」「平成24年度常陸太田市工業用水道事業会計予算」については賛成多数、その外6会計の予算については全会一致により原案可決すべきものと決定した。

委員 長	成井小太郎	委 員	荒井 康夫
副委員長	菊池 伸也	委 員	益子 慎哉
委 員	宇野 隆子	委 員	鈴木 二郎
委 員	福地 正文	委 員	木村 郁郎
委 員	片野 宗隆	委 員	藤田 謙二

宇野 隆子 議員

Q1

一般住宅への太陽光発電設備等設置補助事業や公共施設への太陽光発電設置に引き続き力を入れていくことは重要である。さらに普及・拡充していくために、大規模な太陽光発電「メガソーラー発電」が注目されている。太陽光発電を促進させるため、宮の郷工業団地や遊休地を活用し設置してはどうか。常陸太田市を太陽光発電の先進市にする取り組みを求めるが見解を伺う。

A1

市民生活部長 設置場所は、遊休地などの活用が有効であり、平成24年度予定の自然エネルギー可能性調査の中で探っていく。地域の特性を生かした太陽光発電や水力発電などの導入は、地域経済の振興、雇用の場の確保にもつながるものであり、今後とも積極的に推進していきたい。

Q2

私は市内業者の工事確保の観点から「小規模工事等契約希望者登録制度」の導入を求めている。市内の事業者を対象に受注機会の拡大及び市内経済の活性化を図ることを目的に、昨年6月から市が発注する小規模な工事及び修繕において実施されてきた。今後参加事業者の拡大を図るべきものと考えているが、制度の活用と実績について、登録事業者数、発注件数、そのうち登録業者が受注

A2

した件数、工事総額を伺う。
総務部長 本登録制度は、昨年6月から運用を開始した。登録業者数は、2月1日現在、実数で15者である。実績は発注件数が90件、発注金額が約430万円となっている。これらの主な工事内容としては、学校や市営住宅の修繕、防犯灯の修繕、ガラス修繕などである。

Q2

「小規模登録制度」で市内業者の仕事確保を

Q1

常陸太田市を太陽光発電の先進市に

【宇野 隆子 議員 質問事項】

- ・市長の施政方針について・放射能汚染対策について
- ・自然エネルギー活用の取り組みについて
- ・教育行政について・市営住宅について
- ・市内業者の仕事確保について

第1回定例会

常任委員会の審査から

総務委員会

総務委員会では、常陸太田市の歌の制定について1件、条例の一部改正5件、補正予算1件、請願1件、合計8件の審査を行った。

議案第8号常陸太田市市税条例の一部改正では、条例改正の詳細について。議案第18号平成23年度常陸太田市一般会計補正予算では、収入の増額補正とした市有地売り払いの状況。減額補正となる外国語指導助手報酬に関し、その契約内容と配置状況について。新規就農者等支援事業の内容と支出状況や事業の推移。工業団地に新設される企業に対して企業等立地促進負担金事業の事業経過。耐震リフォーム助成事業の利用状況について質疑が行われ、付託された7議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

請願第1号東海第2原発の廃炉を求める請願では、原発は人命に直結する事故が予想され採択すべきとする意見と、現在も国のエネルギー政策が未定であり、廃炉の結論を出すには時期が早いとする意見。エネルギーの安定供給の立場からも拙速に廃炉と結論すべきではないという意見が出され、起立採決により不採択とすべきものと決定した。

【委員会構成】

委員長	益子 慎哉	委員	片野 宗隆
副委員長	深谷 涉		成井小太郎
委員	沢田 亮		荒井 康夫
	後藤 守		赤堀平二郎

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の制定2件、条例の一部改正4件、補正予算3件、合計9件の審査を行った。

議案第2号常陸太田市暴力団排除条例の制定では、条例制定の経過と警察との協議内容、条例の対象となる暴力団員及び暴力団員の範囲、暴力団による犯罪被害を受けないようにするため青少年に対して行う学校教育の内容について。議案第3号常陸太田市墓地等の経営の許可等に関する条例の制定では、条例制定に際して基礎となる国の法律の改正理由、新たに墓地等を許可する場合の取り扱いと既存の墓地等の取り扱いの違いについて質疑が行われ、付託された9議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

【委員会構成】

委員長	深谷 秀峰	委員	山口 恒男
副委員長	福地 正文		木村 郁郎
委員	高木 将		藤田 謙二
	川又 照雄		



産業建設委員会

産業建設委員会では、条例の制定1件、条例の全部改正1件、指定管理者の指定1件、市道路線の変更・認定各1件、補正予算6件、合計11件の審査を行った。

議案第4号常陸太田市と茨城県信用保証協会との損失補償金寄託契約に基づく回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の制定では、常陸太田市における県の融資制度利用状況。議案第5号常陸太田市都市計画法の規定による開発行為の許可等の基準に関する条例の全部改正では、条例改正の理由、地権者への説明会の開催状況について。議案第15号常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定では、バイオマスリサイクルセンター土壌の放射能除染と再運転に向けての現況と見通し、生産品の放射線量測定など管理状況、東京電力に対する損害賠償請求の状況、さらに指定管理者の決算状況について。議案第22号平成23年度常陸太田下水道事業特別会計補正予算では、平成23年度実施計画及び災害復旧工事の進捗状況。議案第26号平成23年度常陸太田市水道事業会計補正予算では、コンビニエンスストアで納付可能となった使用料の納付状況について質疑され、付託された11議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

【委員会構成】

委員長	高星 勝幸	委員	茅根 猛
副委員長	鈴木 二郎		菊池 伸也
委員	宇野 隆子		平山 晶邦
	黒沢 義久		

請願・陳情

件名	提出者	結果
請願第1号 東海第2原発の廃炉を求める請願	茨城県常陸太田市磯部町617-4 常陸太田平和の会 会長 鈴木 正彦 【紹介議員 宇野 隆子・片野 宗隆】	不採択
陳情第1号 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	茨城県国家公務員労働組合連合会 執行委員長 山口 史朗	報告

議員提案

件名	提出者	結果
議員提案第1号 東日本大震災に係る災害廃棄物の処理支援に関する決議について	提出者 常陸太田市議会議員 川又照雄 賛成者 荒井康夫、高木将、後藤守、高星勝幸、 深谷秀峰、菊池伸也、益子慎哉	原案可決

議会運営委員会 1/20・2/16・3/5・19 第1回定例会の会期・日程等について協議 1月20日、3月定例会の会期について協議、本会議に諮ることとし、「ひたちおおたお知らせ版」及び市民バス・各支所窓口へ掲示することとした。2月16日には第1日の日程、議案等委員会付託、一般質問及び議案質疑の通告期限及び一般質問の発言時間、予算特別委員会の設置について。3月5日には一般質問の発言通告者及び請願及び陳情の取り扱いについて。3月19日には最終日の日程及び追加議案・陳情の取り扱いについて、「東日本大震災に係る災害廃棄物の処理支援に関する決議」について協議し、最終日に議員提案することとした。(P 8に掲載) 委員長 川又 照雄 委員 高星 勝幸 副委員長 荒井 康夫 委員 深谷 秀峰 委員 高木 将 委員 菊池 伸也 委員 後藤 守 委員 益子 慎哉	議会日誌

議会を傍聴しませんか!!

議会は、特別な場合を除き誰でも傍聴することができます。

【傍聴の手続き】

傍聴を希望される方は、市役所4階市議会議場前の傍聴受付で所定の用紙に住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券をお受け取りください。

傍聴席は、72席を用意しています。

傍聴するときには、守っていただく注意事項がありますので、係員の指示に従ってください。

6月定例会会期日程(予定)

6月8日(金) 午前10時 開会・議案説明
12日(火) 午前10時 一般質問
13日(水) 午前10時 一般質問
14日(木) 午前10時 議案質疑
15日(金) 午後1時 総務委員会
18日(月) 午後1時 文教民生委員会
19日(火) 午後1時 産業建設委員会
21日(木) 午前10時 採決・閉会

インターネット上で議会映像中継をご覧いただけます。

常陸太田市議会では、本会議映像のインターネット本配信を行なっています。
配信は議会の「生中継」と「録画中継」の2種類で、
常陸太田市議会のホームページより、以下の手順でご覧いただくことができます。



○録画中継をご覧になる場合

常陸太田市議会のホームページから以下の手順でご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/index.php?code=564>

① 常陸太田市議会
録画中継をクリック

② 会議名をクリック
会議名の他に、議員名・会派名・用語による映像検索が可能です。

③ 録画中継 / 会議名から
会議名をクリック

④ 会議名をクリック

⑤ 観たい内容の再生ボタンをクリック

インターネットに接続されたパソコンから、以上の操作で録画中継をご覧いただけます。録画中継は会議終了日から概ね1週間後に視聴可能になり、中継開始日から1年間、24時間いつでもご覧いただくことができます。

○生中継をご覧になる場合

録画中継と同様の手順で、上記の画面から、「生中継を視聴」ボタンをクリックしてください。

市議会本会議の生中継は、本会議開催日の午前10時から会議の終了時間までの間視聴いただけます。

会議の開催期日は、広報紙「ひたちおたお知らせ版」または、常陸太田市議会ホームページの議会日程に掲載される会期予定をご覧ください。

② 映像中継
生中継をクリック

編集後記

常陸太田市議会だより第128号では、第1回定例会の主な内容を掲載いたしました。現在、市議会は議会報告会の開催、議会アンケートの実施など、開かれた議会を推進し、市民の皆様の多様な意見を把握、市政に反映するための活動をすすめています。

議会だよりにおいても、分かりやすく、議会への関心を深めていただける紙面となるよう、広報委員一同努めてまいります。

市民の皆様の、なお一層の支援をお願いいたします。

発行責任者

議長

副議長

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

茅根 猛
山口 恒男
益子 慎哉
高星 勝幸
深谷 秀峰
菊池 伸也
深谷 郁郎
木村 渉

訂正

常陸太田市議会だより第127号（平成24年2月25日発行）の内容に一部誤りがありましたので、次のように訂正いたします。
8ページ、本文2段目右から10行目の「堅盤地区を堅盤地区に訂正いたします」

この議会だよりは古紙率100%の再生紙を使用しています